

みんなで作る園の未来!

保育ナビ

4
2023
APRIL
〈1/12〉

特集

保育は、質の向上・充実から、
評価の時代へ

はじめての、ICT活用術
色と光の中で遊ぶ

子どもを真ん中に
園づくり・まちづくり
リスペクト型
マネジメントと
家庭・地域への
アプローチ

みんなの保護者対応！
「産後うつ」のAさん

お知らせ

「保育ナビ倶楽部」への入会で
耳よりの保育情報が届きます！

Hoiku
navigation

巻頭

フリーベルのごとば 汐見稔幸 小西貴士

特集

保育は、 質の向上・充実から、 評価の時代へ

〜明日からの保育を考えるためのヒント〜

秋田喜代美

園のかたち2023 …… 20
北斗認定こども園（北海道千歳市）

園 はじめての、ICT活用術 …… 24
秋田喜代美

リ 3・4・5歳児
遊びが育つ保育 …… 26
保育者が提案する
クラス活動と遊び Part II
河邊貴子

主 0・1・2歳児の
保育のきほん …… 30
〜保育者の育ち編〜
井桁容子

主 子どもへのGIFT
恩物の世界 …… 32
和久洋三

園を取り巻く経営・運営環境がここ数年で大きく変化しています。そこで、2022年度末までに確定していることも政策の概要をかんたんにおさらいしながら、これからの時代の保育者に求められる保育実践とはどのようなものか、有識者の座談会・事例紹介を通して検討します。



『保育ナビ』が
伝えたいこと

子どもにとっての最善を みんなで考え合う「共創」の社会へ

4月にこども家庭庁が創設され、「こどもまんなか社会」の実現に向けて動き出します。すべての子どもが健やかに安心して過ごせるように、子どもたちの最善は何かと社会全体で考え合うためにも、園が地域の真ん中となり、地域全体の子どもの育ちを支えることの重要性が、特集や連載で提言されています。キーワードは「共創」です。小誌も皆さまと共に考えていきます。——『保育ナビ』編集部

国の動き

国の動きを読む！
研究者の目2023 …… 34
大方美香

地域別 持続可能な
園になるために2023 …… 36
島根県津和野町

『保育ナビ』の使い方

読む



まずは、自分で読みます。回覧したりして、園内でも各自で読みます。

話す



読んだ記事をもとに、園内で「雑談」したり「研修」をしたりしてみましょう。

保育の質の
向上へ



読み、話すことで、園内で学び合い・語り合いが生まれ、保育の質が高まります。

マークのついているコーナーでは、園内で話し合うためのお題・ワークを用意しています。職員会議や園内研修などでご活用ください。

マークのついているコーナーは毎月、「保育ナビ倶楽部」メールマガジン（年間購読特典）にて動画のご案内を配信します。ぜひ、ご登録ください！



【今月のおすすめ】
園長・主任・学年リーダーにおすすめのコーナーを選んでマークを表示しています。

園長 主任 学年リーダー

園経営

コンサルタントが読み解く
新時代の園経営2023 …… 42

桑戸真一 鳥飼胆識

質を高める危機管理 …… 44
生活も保育も質を向上させよう

脇貴志

人材育成

園のリーダーのための
リスペクト型マネジメント
子どもを真ん中に
園づくり・まちづくり …… 46

大豆生田啓友

事例から学ぶ
園児減少時代の働き方改革 …… 50

菊地加奈子

人材育成
わいわい語り場Ⅱ …… 54

北野幸子

少子化が進むなか、経営面でも保育の質の面でも園の働き方改革が重要になります。初回は、働き方をとりまく状況を整理し、今後の改革の指針について提案します。

保育内容

保育を深める
編集委員の
おすすめ書籍 …… 58

師岡章

保育が変わる！
保育環境の片付け …… 60

川辺尚子

Information・
『保育ナビ』読者からの声 …… 62

みんなの
保護者対応！ …… 65

始めよう

子どもの姿ベースの
指導計画 …… 66

大豆生田啓友 高嶋景子
三谷大紀 松山洋平

巻末

子どもと保育を思う日々から

無藤隆

『『保育ナビ』読者からの声』のコーナーでは、全国の読者から届いたエピソードやご意見を紹介します。

特集

保育は、 質の向上・充実から、 評価の時代へ

～ 明日からの保育を考えるためのヒント ～

少子化の加速や待機児童の大幅な減少など、園を取り巻く経営・運営環境がここ数年で大きく変化しています。また、2023年4月に発足する「こども家庭庁」をはじめ、こども家庭庁による「就学前のこどもの育ちに係る基本的な指針（仮称）」の策定、2021年から文部科学省 中央教育審議会「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」によって検討されている「幼保小の架け橋プログラム」など、社会の変化に合わせた、様々な施策の検討が行われています。

そこで、4月号の「特集」では、こども政策の概要をかんたんにおさらいしながら、これからの時代の保育者に求められる保育実践とはどのようなものか、有識者の座談会・事例紹介を通して検討します。 * 2023年1月時点の情報で構成しています。

監修／秋田喜代美（学習院大学）

イラスト／すがわらけいこ

Contents

- 1 こども政策の動向とその内容
かんたん解説 …P.5
解説「幼保小の架け橋プログラム」のこれから …P.8
無藤 隆（白梅学園大学名誉教授）
- 2 座談会
保育は、質の向上・充実から、
評価の時代へ …P.9
秋田喜代美（学習院大学）、荒牧美佐子（目白大学）、
大豆生田啓友（玉川大学）、松井剛太（香川大学）
- 3 これからの保育実践のヒント …P.15
安達 謙（学校法人ひじり学園）、
柿沼平太郎（学校法人柿沼学園）
- 4 まとめ
こどもまんなか社会の希望を
創り出す場としての園 …P.19
秋田喜代美（学習院大学）

秋田喜代美（あきた きよみ）

学習院大学文学部教授。東京大学名誉教授。専門分野：教育学。子ども・子育て会議 会長、日本保育学会第7代・第9代会長。「就学前のこどもの育ちに係る基本的な指針」に関する有識者懇談会 座長。こども政策の推進に係る有識者会議 委員。幼保小の接続期の教育の質的向上に関する検討チーム 委員長代理。幼保小接続期の教育の質保障の方策に関するワーキンググループ 委員長代理。幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会 委員、等。



1 こども政策の動向とその内容 かんたん解説

「こどもまんなか社会」の実現に向けた、「こども政策に関する議論が進んでいます。ここでは、保育界に関係する3つのテーマを取り上げて、概要をかんたんに解説します。

1 こども家庭庁

2022年にこども家庭庁設置法ができ、2023年4月にこども家庭庁が設置されることになりました(体制は以下参照)。
こども家庭庁は、「こどもの最善の利益を第一に考え、こどもまんなか社会の実現に向け専一に取り組む独立した行政組織」です。今後のこども政策の基本理念(表1)を踏まえ、以下のを3つを基本姿勢として、任務にあたります。

① こどもの視点、子育て当事者の視点

② 地方自治体との連携強化

表1 こども政策の基本理念

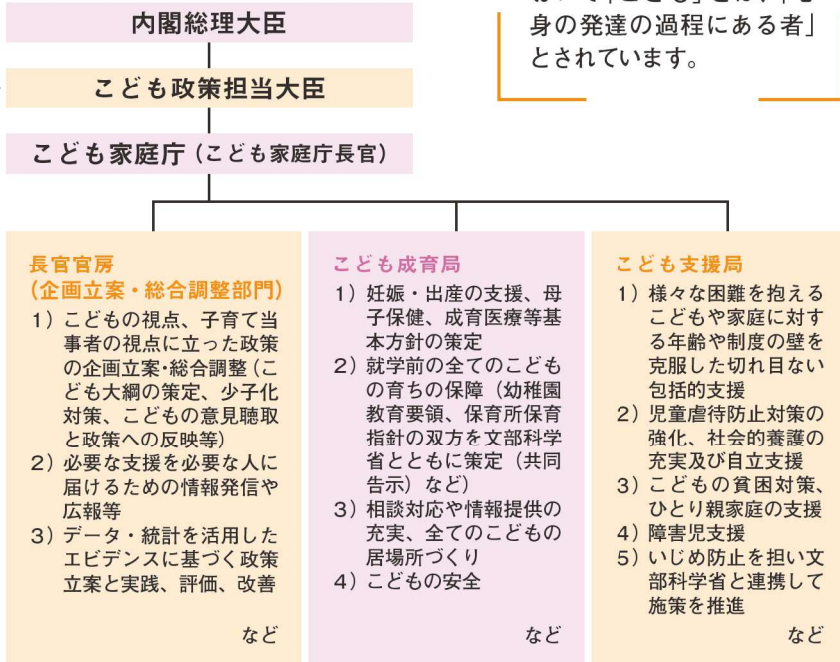
- ① こどもの視点、子育て当事者の視点に立った政策立案
- ② 全てのこどもの健やかな成長、Well-beingの向上
- ③ 誰一人取り残さず、抜け落ちることのない支援
- ④ こどもや家庭が抱える様々な複合する課題に対し、制度や組織による縦割りの壁、年齢の壁を克服した切れ目ない包括的な支援
- ⑤ 待ちの支援から、予防的な関わりを強化するとともに、必要なこども・家庭に支援が確実に届くようプッシュ型支援、アウトリーチ型支援に転換
- ⑥ データ・統計を活用したエビデンスに基づく政策立案、PDCAサイクル(評価・改善)

③ NPOをはじめとする市民社会との積極的な対話・連携・協働
なお、教育面については、文部科学省と密接に連携するとしています。

こども基本法が施行

日本国憲法、児童の権利に関する条約の精神に則り、こども政策を総合的に推進する目的で、2023年4月に施行されます。この法律において「こども」とは、「心身の発達の過程にある者」とされています。

体制



こども政策にかかわる各省庁へ勧告

出典：内閣官房ホームページ こども政策の推進(こども家庭庁の設置等) 組織を基に作図



イラスト／太田さほ

今月の
テーマ

今年度のコンセプトについて

「保育者が提案する クラス活動と遊び」

話し合いの
ポイント



保育者の提案するクラス活動の意味を、
子どもの「遊びの質」を高めるといふ観点から見直してみましょう

執筆



河邊貴子
聖心女子大学

今年度の連載について

「遊びが育つ保育」の連載は7年目に入ります。今年度も田代幸代先生（共立女子大学）と一緒に、東京学芸大学附属幼稚園の先生方のご協力を得ながら進めていきます。

私たちはこれまで、遊びの事例を現場の先生方に提供していた。子どもにとっての遊びの意味や援助のポイントを読み解い

てきました。毎月の事例には生き生きと遊ぶ子どもの姿と、それを支える先生方の緻密な配慮が記述されていて、たくさん学びをそこから得ることができました。良い事例があるからこそ解説を付けることができます。そのことを汲み取ってください。つたある園では、「事例部分」だけを保育者同士が読んで話し合い、後から「解説部分」を読んで学びを深めるといふ園内研修を

続けているのだそうです。そのような使い方がすることは私たちにとっても発見でした。そこで、今年度からは、園内の「学びの種類」になることを意識して、「話し合いのポイント」を冒頭に挙げていこうと思いますので、どうぞ園内で活用してみてください。今年度のテーマは昨年度に引き続き「保育者が提案するクラス活動と遊び」です。遊びを中心とした保育においては、即ち

子どもたちの主体性が十分に発揮される保育においては、「遊びの充実」を中心に、柔軟に1日の保育をデザインしていきます。保育の形態を語る時の「自由か一斉か」といった単純な二分法は超えなければなりません。クラス活動は保育者の一方的な考えで展開するものではなく、子どものその時々興味・関心と往還的な関係を結んで、内容を精選していきます。

クラス活動と遊びの連関

表は昨年度取り上げた事例とクラス活動の意味の連関を示したものです。クラス全員の共有体験が子どもの中に印象深く取り込まれて遊びに活かされた事例もあれば、逆に1人の遊びがクラスみんなに共有されて新たな広がりを見せた事例もありました。

『幼稚園教育要領』の領域「環境」の「内容の取扱い」の中に「他の幼児の考えなどに触れて新しい考えを生み出す喜びや楽しさを味わい、自分の考えをよりよいものにしよとする気持ちがあること」とあります。クラス活動は他児の考えにふれる貴重な機会となり、自分の考えを広げることにつながります。それは同時に他者への関心を高めたり関係を深めたりすることになります。

表 2022年度に取り上げた事例とクラス活動の意味との連関

月	対象年齢	事例の内容	クラス活動の意味
5月号	5歳児	ザリガニ釣りから広がった遊びの事例	① 保育者や友だちとの信頼関係をより深める機会
6月号	5歳児	「帰りの会」で情報を共有したことでつながった電車作りの事例	② 友だちの思いや考えに気づき、遊びのイメージを広げる機会
7月号	3歳児	ハサミの扱いを取り上げた活動から始まった遊びの事例	③ 新しい文化財や遊びに出会う機会
8月号	4歳児	クラス活動で技能を身に付け、遊びにつながった事例	④ 新しい道具や材料、表現の方法に出会う機会
9月号	5歳児	保育者のリボンダンスを見たことから始まったリボンショーの事例	⑤ 季節の変化を生活に取り入れる機会
10月号	5歳児	一部の子どもラグビーごっこをクラスや学年のみんなで行った事例	⑥ 行事が生活に潤いを与えるものになるような機会
11月号	3歳児 5歳児	移動動物園の体験から始まった動物作りの事例	⑦ 共有体験、共感体験の機会
12月号	4歳児	絵本『ぼんたのじどうはんばいき』の読み聞かせから遊びへ広がり、子ども会へとつながった事例	⑧ 集団生活に必要なことがらを身に付ける機会
1月号	5歳児	保育者の提案を受けて、友だちと『エルマーのぼうけん』をベースにした劇を作った事例	
2月号	5歳児	長期にわたる稲作活動と日々の活動との関連を追った事例	

* ①と⑧はすべての事例と関連

エマージェントカリキュラムという考え方

子どもの始めた遊びと、保育者が提案するクラス活動とを有機的に関連付けていこうとする試みは、実は保育カリキュラムの問題であり、1970年代にアメリカで提唱された「エマージェントカリキュラム」の考え方と合致します。

エマージェントとは「現れる」という意味であり、子どもを中心に置き、子どもの中から現れる興味・関心を捉え、そこから計画を組織しようとするものです。当時の伝統的な順序性に即した指導ではなく、子どもと保育者との「対話」によって保育の方向を生成するカリキュラムへと考え方を転換したものです。

保育者は子どもの自然発生する興味に寄り添うと同時に、その興味を向上・深化させたり、

子どもへの GIFT 恩物の世界

監修／和久洋三

「恩物」の原語は、英語の「Gift」（ドイツ語の「Gabe」）。「神さまからのすてきなプレゼント」という意味があります。子どもの成長と興味・関心を育むために考案された20種類の教具です。この連載では、そのうちの10種類（第1恩物～第10恩物）を使った遊びと、それぞれの魅力を紹介していきます。

恩物は子どもの「答えさがし」に 応えてくれる

和久洋三

万物はどこかでつながって存在しています。人間の脳はそのつながりを見つけだそうと日夜働いています。その願いに応えてくれる遊び道具が恩物です。そのため恩物はどれとも一緒に遊べて（基尺*が同じ）、遊ぶたびに新しい形体が生まれます。形と形がつながるなかで、先生や友だち、両親との心もいつの間にかつながっていきます。

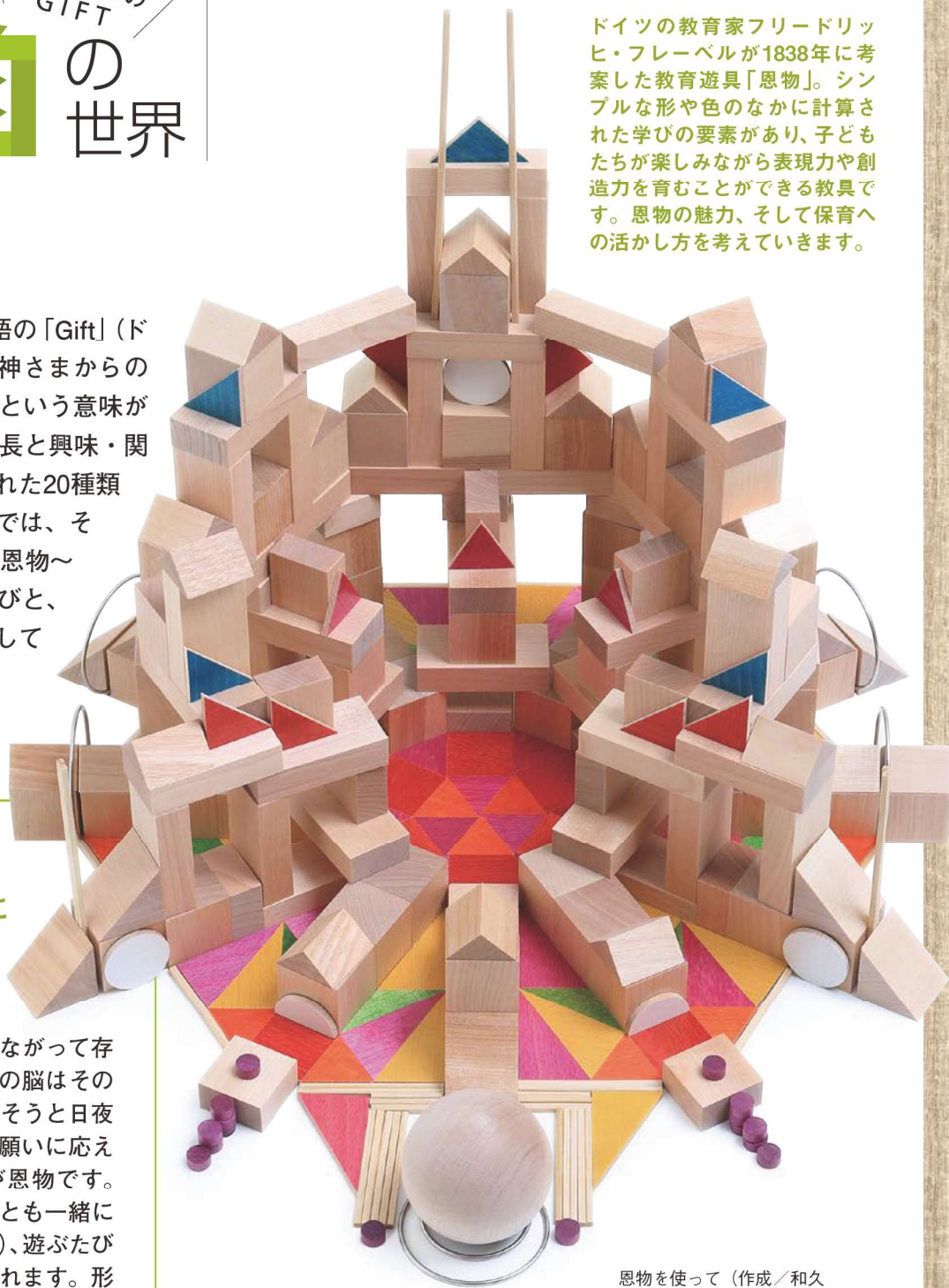


*積み木の基本となるサイズ

和久洋三（わく ようぞう）

和久創造共普及協会会長、童具館館長。東京芸術大学卒業後、フレーベル館で玩具・遊具の開発を担当。園での保育者体験を経て、創造性を開発する童具づくりに専念する。以後、童具館や全国の「和久洋三のわくわく創造アトリエ」で創造共育活動を展開。

ドイツの教育家フリードリッヒ・フレーベルが1838年に考案した教育遊具「恩物」。シンプルな形や色のなかに計算された学びの要素があり、子どもたちが楽しみながら表現力や創造力を育むことができる教具です。恩物の魅力、そして保育への活かし方を考えていきます。



恩物を使って（作成／和久洋三、フレーベル館子育て支援事業部商品デザインチーム、撮影／渡辺 悟）。

より詳しく知るには……

フレーベル館では、明治時代より恩物を製造・販売してきました。当時の恩物の理念と構成を引き継ぎつつ改良を重ねたものを、現在も販売しています。詳しくは「フレーベル館 恩物 フレーベル」で検索してください。



INDEX

カテゴリー別で保育をさらに深めます

国の動き

34

国の動きを読む！ 研究者の目 2023
〈文部科学省編〉

「幼児教育と小学校教育の架け橋
特別委員会」その後

36

地域別
持続可能な園になるために 2023
現地取材編

過疎を止めるべく新設3年
幼児教育コーディネーター

園経営

42

コンサルタントが読み解く
新時代の園経営 2023

これからの園経営・運営における
「ヒト」の重要性

～安心して働ける職場環境とハラスメント～

44

“質”を高める危機管理
～生活も保育も質を向上させよう

【計画性】生活の中の計画性

人材育成

46

園のリーダーのためのリスペクト型マネジメント
子どもを真ん中に 園づくり・まちづくり

リスペクト型マネジメントと
家庭・地域へのアプローチ

50

事例から学ぶ
園児減少時代の働き方改革

今、見据えるべき
「働き方改革」の全体像とは

54

人材育成
わいわい語り場Ⅱ

保育者の意識、その温度差と課題

保育内容

58

保育を深める
編集委員のおすすめ書籍

『もし高校野球の女子マネージャー
がドラッカーの「マネジメント」
を読んだら』

60

保育が変わる！
保育環境の片付け

園の片付け

62

information

『保育ナビ』編集部からのお知らせ、
『保育ナビ』読者からの声

65

みんなの保護者対応！

「産後うつ」のAさん

66

始めよう
子どもの姿ベースの指導計画

“子どもの姿ベースの指導計画”って
なんですか？

園児が減少し園運営の舵取りが重要になるなか、働き方の課題解決の考え方や方法を紹介するコーナー。初回は、働き方改革の全体像について、押さえておきたいポイントを取り上げます。



執筆／菊地加奈子
(社会保険労務士法人
ワーク・イノベーション代表)

事例から学ぶ 園児減少時代の 働き方改革



今日の

テーマ

今、見据えるべき 「働き方改革」の全体像とは

人材育成

少子化による園児減少で
保育の質と働く環境への
意識が高まる

急速な少子化によって、想定以上のスピードで保育所等の定員割れや園児の減少が目立つようになりました。「生き残る園」「選ばれる園」を目指していくために、ということが合言葉のように聞かれますが、危機感によってようやく「保育の質を高めるためには、その担い手たる職員の働く環境を改善していかなければならない」という意識が急速に高まったように見えます。一方で、多くの園が想定していなかったような新たな問題も明るみに出てきました。

選ばれるための働き方改革、その目的と全体像を把握していますか？

働き方改革と聞いてまず取り

組もうとする時に真っ先に考えるのが「残業を減らす」「有休を取りやすくする」「休憩が取れるようにする」、そのためにICT化や業務効率化をするというように、業務改善につなげて考えることが多いようです。働き方改革の全体像が職員間で共有できないまま、業務改善による働きやすさの実現だけを指してしまいがちですが、目的はそれだけではありません。

ここ最近、保育所等における不適切保育や人的ミスが原因と思われる悲しい事故が相次いでいますが、こうした問題の数々も働く環境・労務管理の不備が一因にあると言えます。なぜならば危機管理の甘さ、体制の不備……これらは「人」に目を向けていないことによっても引き起こされるものだからです。

労働時間・休憩・休日といったものは労務管理の根っこの部

イラスト●うつみちはる

☆ 今月のポイント ☆

3

働き方改革について、
地域、保護者、職員に
開かれた対話をしよう

2

人を大切に育てて活かす
「人的資本」の考え方を
園運営に取り入れる

1

働き方改革とは
単なる業務改善のことを
示すのではない

分と言えますが、これらが法律
でなぜ規制されているかといえ
ば、そこで働く人の人生が仕事
上の負荷によって侵されること
なく、心身共に健康なバランス
を保つことができる最低基準だ
からです。

その最低基準を整えたうえで、
ハラスメントのない風通しの良
い関係性、個々の責任感や危機
意識を醸成し、職業人としての
信頼関係を築いていくこと、こ
れが働き方改革の全体像であり、
そこまでしっかり見据えて取り
組む必要があります。

「人」に目を向けた 運営の重要性

今、保育業界を超えて世界的
に注目されている経営のあり方
に「人的資本経営」というもの
があります。保育に限らず、自
ら生み出す商品やサービスの品
質を高めていくためには「人」

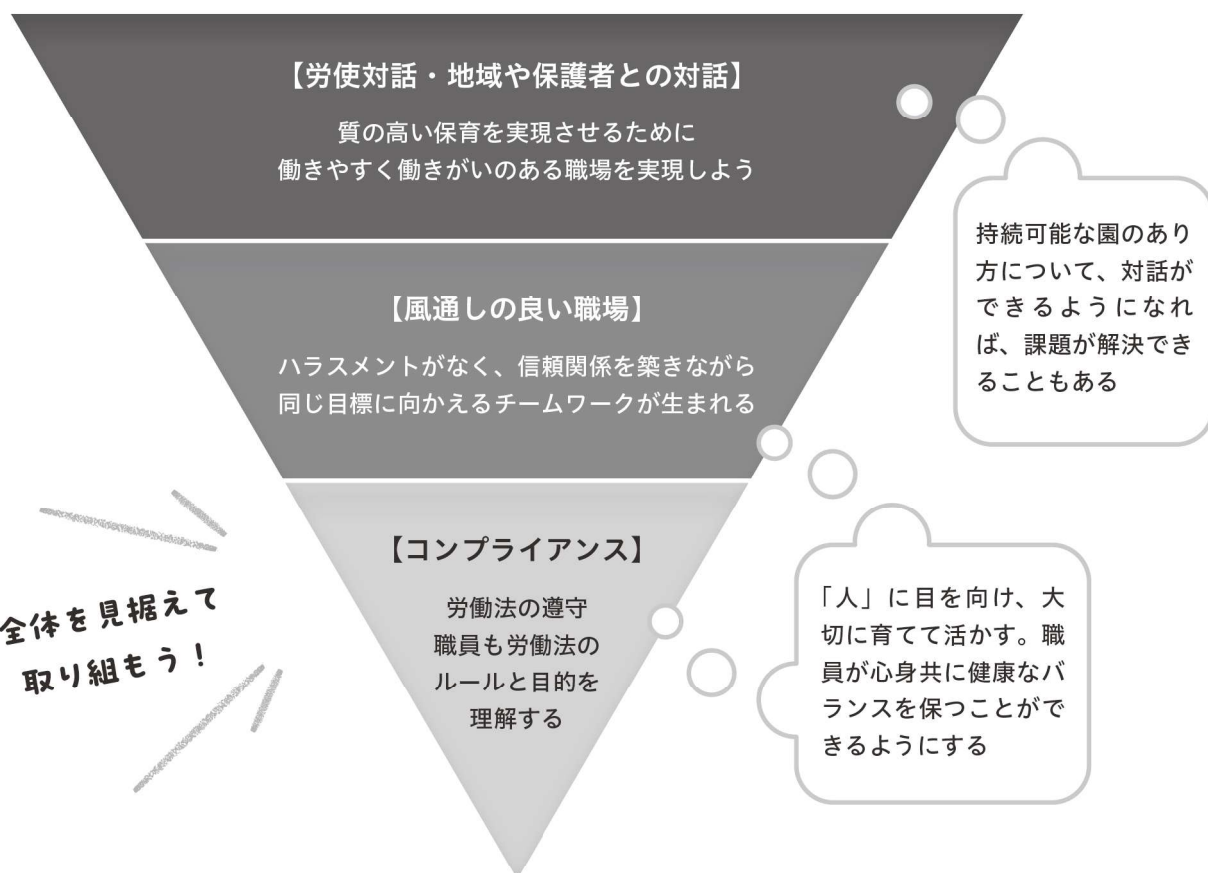
を大切にしなければならぬと
いう考えが浸透したことによる
ものです。そして、「人的資本」
という言葉ですが、これまでの
「人的資源」という言葉が置き
換わったことも注目すべき点と
言えます。

資源は消費するもの、なくな
るもの、コストとなるものとい
う位置づけですが、人を大切な
資本と捉え、育てたり適正に活
躍の場を考えたりしながら自分
たちが生み出す商品やサービス
の品質を高めていくことという考
え方の転換が起こっているので
す。

労働時間、離職率など 職場の情報開示も重要に

そして、人という資本こそが
自分たちの組織の価値を高め、
評価されるための指標になると
いうことから、積極的にその情
報を開示するようになってきて

働き方改革の全体像



保育者の働き方と 働き方改革の考え方に ついて対話をしよう

開示が義務化されるのは上場企業に限られますが、上記のような情報を見れば、その組織が従業員とどのような向き合い、ビジョンを描いているのかという姿勢を見ることができ、信頼につながることは明らかです。で、規模や業種に関係なく、保育業界においてもこうしたアクションを起こしていくことは大変意義あることと言えます。

情報開示をだれに向けて行うかですが、地域、保護者、そして職員すべてに向けて、開示しましょう。職員みんなが働きがいと働きやすさを感じながら、心から保育を楽しみ、保育の質を高めていくためには今どんな課題があり、どのように乗り越えていかなければならないのか、単に権利を保障することにとどまらず、持続可能な園運営を経営者と職員、そして保護者や地域のつながりある人たちと共に対話をしていくことができるようになれば、課題が解決できることもあるはずです。

少子化時代の園運営に欠かせないのは「地域共生」「社会全体で子どもを育てる」という意識を高めていくことです。こうした大きな全体像を共有したうえで、具体的な働き方改革の実行に落とし込んでいくことが期待されます。



チェックシート

- 子どもの人権と職員の人権の大切さを全職員で理解し、考えが浸透されていますか？
- 働き方改革の本当の目的や全体像について全職員で常に話し合い、共有できていますか？
- ハラスメントや不適切保育といった問題は職場環境の影響があることを理解していますか？
- 休憩が取れないこと、持ち帰り仕事が生じてしまうことに課題意識をもっていますか？
- 労務面の状況について、「目標」「大切にしていること」「課題」について整理できていますか？
- 保護者や地域に対して、職員の働く環境を良くしていくことで保育の質を高めるという考え方を共有していますか？
- 個々の職員の強みや希望を受け入れながら、適材適所の配置・長期的なキャリアについて考えていますか？



園内のみんなで考えてみましょう

かかるとすべての人たちにとって最良で持続可能な園運営について考えてみましょう。

* 本連載は、4・7・9・11・2月号に掲載されます。

保育が変わる!

保育環境

片付け

第1回

園の片付け



監修/川辺尚子
(株式会社
保育のデザイン研究所)

保育は環境を通して行うもの。子どもにかかわるすべての環境を使いやすく心地よくすることが、保育の質を向上させます。場所ごとに片付けの目的や方法を紹介します。

「探しにくい」「出しにくい」「見つからない」は職員みんなまで解決しましょう

職員みんなまで

問題意識を共有

絵本やおもちゃなど、自分のクラスの片付けは意識していても、園全体の片付けまでは気持ちも手もまわらない保育者は多いでしょう。でも、保育において環境はとて大切な要素。遊びの環境だけでなく、子どもにかかわるすべての環境が使いやすく心地よく片付いていることは、保育の質にもおおいに関係してきます。

こない、動線が悪く作業が滞るなど、保育のしにくさにつながることもあります。ごちゃごちゃとした雰囲気、暮らしにくさや遊びにくさを感じている子どももいます。

園は保育者にとっても子どもにとっても、1日の多くの時間を過ごす暮らしの場です。すべての人にとってどんな環境になるのでしょうか。まずは、職員みんなでのような場にしたいのか、そしてそのためにはどのような改善が必要なのか。イメージを共有するところから始めましょう。

保育内容



収納されていたものを把握して、必要かどうかや優先順位などで分類し、収納場所を決めていく。

2

使いやすさや頻度を相談しながら収納の場所や方法を決めていく



引き出しや箱などにもものが入っていて、何がどこにあるかわからない。

1

「このスペースはどんな場所にしたい?」というイメージと改善したいことを共有する

片付けの
3
ステップ

片付けは チームで取り組む

だれか1人で片付けたけれど、きれいな状態を維持できなかったという経験はありませんか。それは、人によって収納に対する考えや目的・方法が違い、共有されにくいからなのです。

片付けとは、その場に必要なものを取捨選択し、必要なものについてそれぞれの収納場所（住所）を明確にしていく作業。大切なものは、チームで取り組むということなのです。

いざ「片付けよう」という時には、よく話し合うことが大切です。「これはどんな時に使う?」「優先順位は?」「こういう時、使いにくいよね」など、これまでどう感じていたかを伝え合います。改善の糸口をみんなで探りながらイメージをすり合わせていくと、片付けが共働作業になっていきます。

片付けて チーム力がアップ

片付けのポイントは「何がどこにあるのかが見てわかる」「ものが取り出しやすい」「使った後に戻しやすい」の3点です。

みんなで相談しながら収納場所を決めていくと、ちょうどいい片付け方が見つかっていきます。

保育者一人ひとりが自分はどう考えるか、みんなとどう解決していくかを考えます。そのような主体的で協同的な語り合いを通してチーム力がアップしていくのではないのでしょうか。

12回のテーマ

4月号	園の片付け
5月号	玄関
6月号	保育室
7月号	保育室の収納
8月号	ベランダやたたき
9月号	教材室（製作素材）
10月号	教材室（季節玩具）
11月号	本・本棚
12月号	倉庫（大型遊具）
1月号	倉庫（行事備品）
2月号	職員室（書類・資料）
3月号	PCの整理

※より良い企画にするために、変更になる場合があります。

3

いよいよ収納！
配置の美しさにも気を配る



実際に使うことをイメージしながら配置していく。

After



何がどこにあるか、ひと目でわかるようになった。

ポイント

- ・何がどこにあるかが見てわかる
- ・ものが取り出しやすい
- ・使った後に戻しやすい

次号から
場所ごとの片付けを紹介！

information

『保育ナビ』編集部からのお知らせ

『保育ナビ』編集部では、4つのメディアでも
保育情報を配信しています。

『保育ナビ』
の
情報をもっと!

『保育ナビ』の公式サイト

<https://www.hoiku-navigation.com/>



『保育ナビ』の公式 Facebook

<https://www.facebook.com/froebelkan.hoikunavi/>



『保育ナビ』YouTube チャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCP4zj6p_z7LQ-G0ecoFY1fQ



メールマガジン「保育ナビ倶楽部」

<https://www.hoiku-navigation.com/news/naviclub2023/>



『保育ナビ』年間購読者限定のメールマガジン「保育ナビ倶楽部」(登録無料)。保育に役立つ情報をタイムリーにお届けします。

- ①園経営から保育エッセイまで、保育に役立つ情報を配信
- ②『保育ナビ』と連動した解説動画のお届け
- ③『保育ナビ』最新記事情報
- ④保育オンラインセミナー・商品情報

フレーベル館主催セミナー

フレーベル館 4月開催 保育オンラインセミナー

幼稚園・保育所・認定こども園の保育者様を対象とした LIVE オンラインセミナーをご紹介します。

子どもの生活リズムづくりと 外あそびのススメ

子どもたちの生活環境・あそび環境はどんな変化や状況があり、そして、どんな影響があるのでしょうか。子どもたちの健やかな発達のために意識したいことや、「外あそび」の重要性や効能、健全育成における大切なポイント等について、お話しします。

LIVE 開催日時：4月12日(水) 13:15～14:30
収録配信：4月26日(水)～5月9日(火) 予定
価格：個人申し込み 5,500円(税込)
園申し込み 22,000円(税込)

講師：前橋 明先生
(早稲田大学教授/医学博士)



豊かな感性と生きる力を育む体遊びと 関わり方 ～四季を感じるキッズヨガ～

保育に取り入れられる、季節を感じる体遊び(キッズヨガ)をご紹介します。キッズヨガを通して体だけでなく、感性を育むことは子どもの生きる力を育むことにつながります。そんなキッズヨガの取り入れ方を、園生活の一場面に溶け込むようなものから、一連のプログラム作りのコツまでお話しします。

LIVE 開催日時：4月26日(水) 13:15～14:30
収録配信：5月10日(水)～5月23日(火) 予定
価格：個人申し込み 3,300円(税込)
園申し込み 13,200円(税込)

講師：石田 友美(ともっち)先生
(公認心理師/
子どもヨガプロジェクト WAPPY 主宰)



※ LIVE 配信はウェブ会議サービス Zoom によるオンラインセミナーです(収録配信は動画共有サイト Vimeo を使用します)
※ 配信時期、テーマ、内容、受講料、講師は予定です。一部変更となる可能性があります。最新の情報や申込方法・セミナーの詳細はフレーベル館ホームページからご確認ください。(「フレーベル館 セミナー」で検索してください)

【問い合わせ先】株式会社フレーベル館 セミナー事務局 メール：seminar@froebel-kan.co.jp 電話：03-5395-6637

「保育ナビ」読者からの声

「保育ナビ倶楽部」の会員の皆さんから届いた、エピソードを紹介します。今回のテーマは、「印象に残っているエピソード」です。

読者の皆さんのエピソードをお待ちしています！

「保育ナビ倶楽部」に登録する（詳細は右ページ）か、保育ナビ公式サイトのお知らせ欄をご確認ください。



印象に残っているエピソード ①

クリスマスの子どもたち

クリスマス絵本をたくさん読んでもらった4歳児が楽器遊びをしていました。

先生の『きよしこの夜』のピアノが聞こえてくると鈴やハンドベルを手にした子どもたちが、全身を使って大きな円を描くように、繊細で密やかな音色で「星のきらめき、ささやき」を表現していました。もちろん顔の表情も。「たくさんのお星さまがお空から見守ってくれている様子」だと教えてくれました。

乳幼児期、特に乳児期にリトミックや絵本の読み聞かせなど、楽しく子どもたちの心に働きかけ、美しい言葉や絵、音、様々な表現をたくさんインプットすることは、後に豊かな想像力や表現力、言語力となってアウトプットしていくように感じています。

(社会福祉法人私部 わかばこども園 園長 吉田元子)

印象に残っているエピソード ②

水に浮かぶ船を作る

船を作った子どもの「水に浮かべたい」という一言から、たらいに水をはり、船を浮かべられるよう用意をしました。それを見て、周りにいた子どもも様々な素材を使って自分の船作りを始めました。船ができあがると船を水にそっと浮かべ……、浮かぶととてもうれしそうな様子。ところが、しばらくすると「沈んじゃうー」「だめだ……」という声。

相談しながら別の素材で船を作り始め、試行錯誤しながらとうとう水に浮かび、壊れない船ができあがりました。

遊びの中で物の特性に気づき、子どもたちは工夫することのおもしろさを感じていたようです。自ら問題解決する方法を見つけ出して試し、新たな気づきが広がるよう私たち保育者は環境を構成し子どもに寄り添う言葉かけをすることが大切だと思っています。

(学校法人春緒野学園 東豊中幼稚園 副園長補佐 井上啓子)

『保育ナビ』編集部からお知らせ

園のみんなで
読んで、
語り合おう!



2023年度も
「保育ナビ」を
よろしく
お願いします。



月刊保育誌『保育ナビ』
定価：1,200円（本体1,091円＋税10%）、
B5判 72ページ
年間購読：税込14,400円（本体1,091円＋税10%/12か月）



特集

- 4月 保育は、質の向上・充実から、評価の時代へ（秋田喜代美）
- 5月 人間関係がキーワード 保育者のメンタルヘルスケア（加藤由美）
- 6月 絵本の読み聞かせから考える、小学校との接続（吉永安里）
- 7月 保育研究の最前線 保育実践を科学する（砂上史子）
- 8月 知っていますか？ ミドルリーダーの仕事術
- 9月 どうしてる？ 保育実習（増田まゆみ）
- 10月 子どもとつくる 対話でつくる 保育のすすめスペシャル（青山 誠）
- 11月 自然物で飾ろう！ 保育室をセンスアップ
- 12月 子どもに保育研究を伝える（松井剛太）
- 1月 保育者必見！ 文章の書き方（師岡 章）
- 2月 保護者の声にどう応えるか
- 3月 医療的ケア児支援とインクルーシブ保育（市川奈緒子 / 仲本美央）

※より良い内容にするため内容が変更になる場合があります。

5月以降開始の新連載



「人格」を軸とした人事と研修（久保健太）
エリクソン・ティール組織・東洋思想から組織を考えます。
子どもとつくる
対話でつくる 保育のすすめ（青山 誠）
子どもとの対話の実践をステップに沿って解説します。

※より良い内容にするため内容が変更になる場合があります。



本誌の記事と連動したオンラインセミナーも！

2023年度は、『保育ナビ』本誌の記事と連動したオンラインセミナーも実施予定です。お楽しみに。

『保育ナビ』読者限定

オンデマンドセミナーの
お試し視聴を実施中

『保育ナビ』の執筆者の方々等が登場する、
オンデマンドセミナーのお試し視聴を
読者限定で実施中。ぜひアクセスください。

生き生きと遊び
豊かに育つ保育を目指して
講師：宮里暁美先生

保育記録の書き方・
生かし方～質の高い
保育実践のために～
講師：田代幸代先生

「遊び」と「子どもの育ち」
を考える
講師：田澤里喜先生

